

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成23年12月1日

**【四半期会計期間】** 第47期第2四半期(自 平成23年7月21日 至 平成23年10月20日)

**【会社名】** 株式会社ヤガミ

**【英訳名】** YAGAMI INC.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 八神 基

**【本店の所在の場所】** 名古屋市中区丸の内三丁目2番29号

**【電話番号】** 052 951 9252(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 拮石 研自

**【最寄りの連絡場所】** 名古屋市中区丸の内三丁目2番29号

**【電話番号】** 052 951 9252(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理本部長 拮石 研自

**【縦覧に供する場所】** 株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第46期 第2四半期 連結累計期間	第47期 第2四半期 連結累計期間	第46期
会計期間		自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日	自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日	自 平成22年4月21日 至 平成23年4月20日
売上高	(千円)	3,534,628	3,416,095	7,501,330
経常利益	(千円)	385,652	341,923	851,539
四半期(当期)純利益	(千円)	214,767	195,187	477,806
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	211,093	199,327	485,777
純資産額	(千円)	6,970,597	7,369,660	7,207,807
総資産額	(千円)	10,065,240	10,478,117	10,545,419
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	32.96	31.25	74.88
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	67.03	68.10	66.17
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	220,686	546,088	383,044
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	183,318	146,573	353,737
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	363,587	47,523	451,111
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	749,533	1,299,036	653,947

回次		第46期 第2四半期 連結会計期間	第47期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月21日 至 平成22年10月20日	自 平成23年7月21日 至 平成23年10月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	26.47	23.56

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第46期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式がないため記載いたしておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による供給制約が解消に向かうなか回復基調にあるものの、海外金融市場の混乱による世界経済の下振れや円高の進行による輸出の伸び悩み、原発停止による電力供給の制約など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、前期末から期初にかけてのエレクトロニクス・電子素材の好調により、産業用機器が伸長しましたが、東日本大震災への緊急対応により、政府の当初予算執行が順調になく、学校校舎耐震化予算の執行が遅れ、理科学機器設備の販売が低調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高34億16百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益3億7百万円（同14.5%減）、経常利益3億41百万円（同11.3%減）、四半期純利益1億95百万円（同9.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 理科学機器設備

アジア市場に対する滅菌器の販売が好調だったものの、学校校舎耐震化予算執行の遅れから実習台や収納戸棚類の需要が落ち込み、売上高は18億17百万円（前年同期比16.8%減）、セグメント利益は84百万円（53.7%減）となりました。

#### 保健医科機器

保健設備品の需要増加及び東日本大震災の復興需要に伴うA E Dの供給により、売上高は9億3百万円（同13.5%増）、セグメント利益は1億49百万円（同11.0%増）となりました。

#### 産業用機器

エレクトロニクス関連需要や素材産業の設備投資により、保温・加熱用電気ヒーターや環境試験装置の販売が国内及びアジア向けに大きく伸長し、売上高は6億94百万円（同25.6%増）、セグメント利益は1億6百万円（同54.6%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は104億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて67百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少等により、流動資産が1億15百万円、減価償却等により、有形固定資産、無形固定資産が62百万円減少した一方、投資その他の資産が1億10百万円増加したことによるものであります。負債は31億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億29百万円減少しました。これは主に、買掛金の減少等により、流動負債が2億38百万円減少した一方、退職給付引当金の増加等により固定負債が9百万円増加したことによるものであります。純資産は73億69百万円となり、自己資本比率は68.1%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、営業活動により5億46百万円の増加、投資活動により1億46百万円増加し、財務活動により使用した資金は47百万円となった結果、当第2四半期連結累計期間末は前連結年度末に比べ6億53百万円増加し、12億99百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益3億42百万円、売上債権の減少による収入4億45百万円、仕入債務の減少による支出2億42百万円等により、前年同四半期に比べ3億25百万円増加し、5億46百万円となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により得られた資金は、定期預金の預入と払戻の純額での収入13億90百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出20億39百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入8億13百万円等により、前年同四半期は1億83百万円の支出でしたが、当四半期は1億46百万円の獲得となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、社債の償還による支出10百万円、配当金の支払額37百万円により、前年同四半期に比べ3億16百万円減少し、47百万円となりました。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は81,757千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,200,000
計	27,200,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年10月20日)	提出日現在発行数(株) (平成23年12月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,801,760	6,801,760	(株)名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株であ ります。
計	6,801,760	6,801,760		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月21日～ 平成23年10月20日		6,801,760		787,299		676,811

(6) 【大株主の状況】

平成23年10月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)やがみビル	愛知県名古屋市天白区弥生が岡327番地	2,880	42.34
(有)八世クリエイト	愛知県名古屋市天白区弥生が岡327番地	530	7.79
(株)八神製作所	愛知県名古屋市中区千代田2 16 30	310	4.55
御園サービス(株)	愛知県名古屋市北区平安2 15 56	204	2.99
八神 基	愛知県名古屋市天白区	200	2.94
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2 7 1	170	2.49
名古屋中小企業投資育成(株)	愛知県名古屋市中村区名駅南1 16 30	162	2.38
ヤガミ従業員持株会	名古屋市中区丸の内3 2 29	160	2.35
八神 昌裕	愛知県名古屋市天白区	121	1.77
第一生命保険(株) (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行(株))	東京都千代田区有楽町1 13 1 (東京都中央区晴海1 8 12 晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	110	1.61
計		4,847	71.26

(注) 上記のほか当社所有の自己株式556千株(8.17%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年10月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式556,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式6,241,000	6,241	
単元未満株式	普通株式 4,760		
発行済株式総数	6,801,760		
総株主の議決権		6,241	

(注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式5株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年10月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヤガミ	名古屋市中区丸の内 三丁目2番29号	556,000		556,000	8.17
計		556,000		556,000	8.17

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月21日から平成23年10月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月21日から平成23年10月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人東海会計社による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,254,947	1,410,036
受取手形及び売掛金	2,302,718	1,860,135
有価証券	669,739	1,896,018
商品及び製品	761,820	799,043
仕掛品	68,274	95,302
原材料及び貯蔵品	249,625	260,407
繰延税金資産	98,597	82,100
その他	156,794	43,419
貸倒引当金	4,651	4,260
流動資産合計	6,557,867	6,442,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	900,282	879,642
土地	1,850,525	1,850,525
その他(純額)	106,581	85,755
有形固定資産合計	2,857,388	2,815,923
無形固定資産		
ソフトウェア	159,175	138,325
その他	4,555	4,492
無形固定資産合計	163,730	142,818
投資その他の資産		
長期預金	-	100,000
投資有価証券	617,195	619,036
繰延税金資産	173,246	178,970
その他	179,732	183,837
貸倒引当金	3,741	4,672
投資その他の資産合計	966,433	1,077,172
固定資産合計	3,987,551	4,035,913
資産合計	10,545,419	10,478,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,804,910	1,569,608
短期借入金	80,000	80,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	102,306	72,181
未払法人税等	46,136	140,622
賞与引当金	166,457	106,970
その他	137,975	130,228
流動負債合計	2,357,786	2,119,612
固定負債		
社債	30,000	20,000
繰延税金負債	143,465	138,567
退職給付引当金	248,068	259,542
役員退職慰労引当金	286,195	296,991
その他	272,096	273,743
固定負債合計	979,825	988,844
負債合計	3,337,611	3,108,456
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	676,811	676,811
利益剰余金	5,811,928	5,969,640
自己株式	312,923	312,923
株主資本合計	6,963,115	7,120,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,213	14,277
その他の包括利益累計額合計	14,213	14,277
少数株主持分	230,477	234,554
純資産合計	7,207,807	7,369,660
負債純資産合計	10,545,419	10,478,117

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
売上高	3,534,628	3,416,095
売上原価	2,168,798	2,103,323
売上総利益	1,365,830	1,312,772
販売費及び一般管理費	1,005,939	1,004,907
営業利益	359,890	307,864
営業外収益		
受取利息	2,963	1,584
有価証券利息	3,250	3,864
受取配当金	1,713	2,316
不動産賃貸料	32,809	37,822
その他	2,209	6,184
営業外収益合計	42,945	51,772
営業外費用		
支払利息	1,185	784
社債利息	210	144
不動産賃貸費用	14,464	15,503
その他	1,322	1,281
営業外費用合計	17,183	17,713
経常利益	385,652	341,923
特別利益		
投資有価証券売却益	-	351
貸倒引当金戻入額	1,303	-
特別利益合計	1,303	351
特別損失		
固定資産除却損	25	-
投資有価証券評価損	10,769	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,241	-
特別損失合計	18,036	-
税金等調整前四半期純利益	368,919	342,274
法人税、住民税及び事業税	46,962	137,178
法人税等調整額	104,672	5,831
法人税等合計	151,634	143,010
少数株主損益調整前四半期純利益	217,285	199,264
少数株主利益	2,517	4,076
四半期純利益	214,767	195,187

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	217,285	199,264
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,191	63
その他の包括利益合計	6,191	63
四半期包括利益	211,093	199,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,575	195,250
少数株主に係る四半期包括利益	2,517	4,076

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	368,919	342,274
減価償却費	63,378	74,290
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,712	11,474
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	22,948	10,795
賞与引当金の増減額(は減少)	147,143	59,486
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,303	540
受取利息及び受取配当金	7,926	7,765
支払利息	1,396	928
投資有価証券評価損益(は益)	10,769	351
売上債権の増減額(は増加)	1,273,442	445,731
たな卸資産の増減額(は増加)	1,571	75,032
仕入債務の増減額(は減少)	665,807	242,870
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,241	-
その他	121,699	22,029
小計	763,603	478,499
利息及び配当金の受取額	8,514	5,965
利息の支払額	1,241	794
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	550,189	62,417
営業活動によるキャッシュ・フロー	220,686	546,088
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	3,101,000	1,711,000
定期預金の払戻による収入	3,101,000	3,101,000
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	764,467	2,039,298
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	612,558	813,642
有形固定資産の取得による支出	10,277	6,998
無形固定資産の取得による支出	26,550	7,161
長期貸付金の回収による収入	500	500
保険積立金の積立による支出	3,430	3,430
その他	8,348	680
投資活動によるキャッシュ・フロー	183,318	146,573
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の償還による支出	10,000	10,000
自己株式の取得による支出	272,688	-
配当金の支払額	80,899	37,523
財務活動によるキャッシュ・フロー	363,587	47,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	48
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	326,250	645,088
現金及び現金同等物の期首残高	1,075,783	653,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	749,533	1,299,036

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
運賃及び荷造費	78,935 千円	76,106 千円
給料及び賞与	352,837 "	335,483 "
賞与引当金繰入額	90,153 "	89,133 "
役員退職慰労引当金繰入額	8,510 "	10,795 "
退職給付費用	26,827 "	21,953 "
減価償却費	32,802 "	39,937 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
現金及び預金	2,350,533 千円	1,410,036 千円
有価証券勘定に含まれる譲渡性預金		1,500,000 "
預入期間が3か月を超える定期預金	1,601,000 "	111,000 "
預入期間が3ヶ月を超える譲渡性預金		1,500,000 "
現金及び現金同等物	749,533 千円	1,299,036 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年7月13日 定時株主総会	普通株式	80,877	12	平成22年4月20日	平成22年7月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月5日 取締役会	普通株式	37,474	6	平成22年10月20日	平成23年1月6日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年7月12日 定時株主総会	普通株式	37,474	6	平成23年4月20日	平成23年7月13日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月7日 取締役会	普通株式	37,474	6	平成23年10月20日	平成24年1月6日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計書計上額
	理科学機器設 備	保健医科 機器	産業用 機器			(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	2,185,436	796,250	552,940	3,534,628		3,534,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	2,185,436	796,250	552,940	3,534,628		3,534,628
セグメント利益	182,779	132,722	68,717	386,220	567	385,652

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計書計上額
	理科学機器設 備	保健医科 機器	産業用 機器			(注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	1,817,583	903,994	694,517	3,416,095		3,416,095
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	1,817,583	903,994	694,517	3,416,095		3,416,095
セグメント利益	84,688	149,495	106,260	340,443	1,479	341,923

(注) 1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しないものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

前連結会計年度末(平成23年4月20日)

(単位:千円)

科目	連結貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
有価証券及び投資有価証券	1,283,984	1,248,932	35,052	(注)

(注) 金融商品の時価の算定方法

有価証券及び投資有価証券の時価については、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

当第2四半期連結会計期間末(平成23年10月20日)

有価証券及び投資有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

(単位:千円)

科目	四半期連結貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
有価証券及び投資有価証券	2,515,055	2,480,073	34,981	(注)

(注) 金融商品の時価の算定方法

有価証券のうち1,500,000千円は譲渡性預金であり、短期間で決済されるものであるため時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。その他の有価証券及び投資有価証券の時価については、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末(平成23年4月20日)

1. 満期保有目的の債券

区分	連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
その他	796,095	761,043	35,052
計	796,095	761,043	35,052

2. その他有価証券

区分	取得原価(千円)	連結貸借対照表 計上額(千円)	差額(千円)
株式	92,726	116,615	23,888
その他			
信託受益権	371,273	371,273	
計	464,000	487,889	23,888

当第2四半期連結会計期間末(平成23年10月20日)

満期保有目的の債券及びその他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

1. 満期保有目的の債券

区分	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
その他	598,838	563,857	34,891
計	598,838	563,857	34,891

2. その他有価証券

区分	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	差額(千円)
株式	92,726	116,722	23,995
その他			
信託受益権	296,544	296,544	
譲渡性預金	1,500,000	1,500,000	
計	1,889,270	1,913,266	23,995

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月21日 至平成23年10月20日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	32円96銭	31円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	214,767	195,187
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	214,767	195,187
普通株式の期中平均株式数(株)	6,515,700	6,245,755

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第47期(平成23年4月21日から平成24年4月20日まで)中間配当について、平成23年11月7日開催の取締役会において、平成23年10月20日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	37,474千円
1株当たりの金額	6円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年1月6日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月30日

株式会社ヤガミ  
取締役会 御中

監査法人東海会計社

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 前田勝昭 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 小島浩司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヤガミの平成23年4月21日から平成24年4月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月21日から平成23年10月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月21日から平成23年10月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヤガミ及び連結子会社の平成23年10月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結会計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。